

コロナウイルス関連 公開情報取りまとめ  
～2020年4月26日(日) 19時現在～

在サンパウロ日本国総領事館

1 サンパウロ州

4月23日(木)～26日(日)

- 26日(日) 16時現在、州内の感染者数は前日比711人増の2万715人で、うちサンパウロ市が1万3513人、オザスコ市が541人、グアルーリョス市が495人、サン・ベルナルド・ド・カンポ市が475人と続く。死者数は同33人増の1700人。感染が確認されたのは州内284市、死者は128市、入院感染患者数も約7500人と拡大傾向が続く。感染患者向けの集中治療室の占有率は58.9%、サンパウロ大都市圏内では同77.3%。なお、24日(金)、州保健局長はサンパウロ市内ではエミリオ・リバス病院とクリニカス病院の病床占有率が高くなっており各病院で増床を進めていると説明。
- 23日(木)～25日(土)のサンパウロ州内の社会的隔離実施率はそれぞれ48%、48%及び52%。24日(金)、サンパウロ州政府は、社会的隔離実施率が50%以上でないとは隔離を緩和すべきではない旨医療専門家が勧告しているとして、州民に協力を呼び掛け。
- 24日(金)、サンパウロ州政府は他国の経験や状況等を参考にしつつ、3月23日(月)から休校している州内の公立学校の教室授業を7月以降、段階的に再開すると発表。幼稚園・保育園は先に再開する。本件については5月8日(金)に発表する「サンパウロ計画(Plano Sao Paulo)」においても説明予定で、教室内で生徒間の距離を保つ必要があるため、生徒全員が一斉に登校するのではなく、順番に登校する形式を検討している。当面は27日(月)に始まるオンライン授業と併せて学校の授業を実施する。経済活動が段階的に再開した後、保護者が安心して仕事に復帰できるよう教育分野の対応も重要との考え。
- 24日(金)、サンパウロ州政府は27日(月)から州知事による記者会見を月・水・金の12時半から行うと発表。火・木の12時半からは保健当局の記者会見を予定。
- 24日(金)、サンパウロ州政府は州内主要道路の4月の交通量が20日(月)現在で前年同期比48%減少したと発表。外出自粛措置を受けたもので、交通事故発生件数も同52%減の906件となった。
- 26日(日) 15時現在、サンパウロ市内の仮設病院の入院患者数は前日比83人増の計485人。
- 23日(木)、サンパウロ市は感染患者の受入れにあたり、市南部インジアノーポリス地区のブラジル赤十字病院の協力を得られるようになったと発表。同病院は同患者専用で最大75床を整える予定。

2 マット・グロッソ州

4月26日(日)

- 26日(日) 19時現在、州内の感染者数は前日比3人増の250人、うち州都クイアバ市が127人、ロンドノーポリス市が36人、シノピ市が20人と続く。入院患者数は18人。死者は25日(土)に9人目(45歳男性、シノピ市在住。高血圧と糖尿病を患っていた。医療従事者の死者は州内初)、26日(日)に10人目(92歳男性、元タリオ・デ・ジャネイロ市在住だったが、クイアバ市内の私立病院で死亡)が確認された。

3 マット・グロッソ・ド・スル州

4月24日(金)～26日(日)

- 24日(金)、カンポ・グランデ市は市内の社会・スポーツ関連親睦団体(カンポ・グランデ日伯体育文化協会含む)の活動を、衛生管理の徹底や利用者数の制限、距離の確保等の条件付きで再開を許可と発表。
- 26日(日)、同州政府は州内全ての公立・私立病院に感染患者数・疑い者数の報告を義務付けると発表。
- 26日(日) 午前11時現在、州内の感染者数は前日比17人増の234人、うち州都カンポ・グランデ市が125人、トレス・ラゴアス市が39人と続く。死者は23日(水)に確認された7人目(76歳女性、トレス・ラゴアス市)から変わらず。なお、同州政府は、州都カンポ・グランデ市内で実施中のドライブスルー形式のコロナウイルス検査は、これまでに764人に実施し21人が陽性だったと発表。(了)